

2025年3月期 第3四半期決算

決算説明会

2025年1月31日

株式会社 トクヤマ



2025年3月期 第3四半期決算のポイント

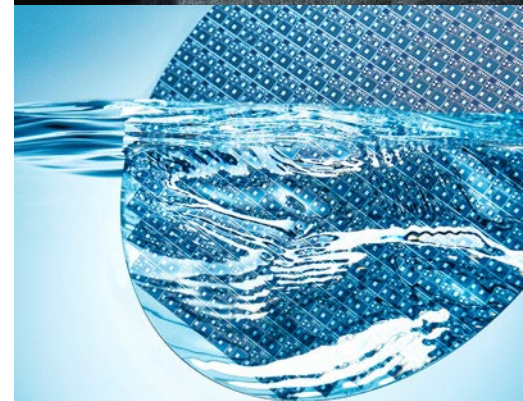
- 半導体関連製品や歯科器材の販売が堅調に推移し、売上高は対前年同期比で増収
- 石炭価格下落等による製造コスト減少により、営業利益は対前年同期比で増益
- 先端分野の回復が堅調で半導体関連製品の伸びは期初想定を上回る進捗。一方、化学品やセメントの販売動向を踏まえ、通期業績予想を下方修正

CONTENTS

- ① 2025年3月期 第3四半期決算
- ② 2025年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2025年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,502	2,533	+31	+1	半導体関連製品・歯科器材販売堅調
営業利益	169	210	+41	+24	製造コスト改善
経常利益	169	219	+50	+29	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 四半期純利益	119	169	+50	+42	経常利益の増加 特別損益の改善*
1株当たり 四半期純利益 (円)	165.49	235.15	-	-	-
為替 (円/\$)	143	153	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	68,000	77,300	-	-	-

*特別利益：サン・トックス(株)の統合による交換益、政策保有株式縮減による売却益

1. 決算概要

(億円)

	2024年3月末	2024年12月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,573	4,774	+200	現金及び預金の増加
自己資本	2,492	2,572	+79	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	54.5%	53.9%	△0.6pt	-
有利子負債	1,057	1,109	+51	社債の発行
D/Eレシオ	0.42	0.43	+0.01	-
ネットD/Eレシオ*	0.23	0.16	△0.07	-
1株当たり純資産 (円)	3,464.47	3,575.07	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2024年3月期 第3四半期		2025年3月期 第3四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	862	88	859	79	△3	△0	△9	△10
セメント	506	47	496	57	△10	△2	+9	+21
電子先端材料	540	5	621	53	+80	+15	+47	+867
ライフサイエンス	293	60	305	59	+11	+4	△1	△3
環境事業	54	△3	34	△0	△19	△36	+3	-
その他	323	11	299	20	△24	△7	+9	+83
計	2,581	210	2,615	270	+33	+1	+59	+28
セグメント間 消去・全社費用	△79	△41	△81	△59	△2	-	△18	-
連結決算	2,502	169	2,533	210	+31	+1	+41	+24

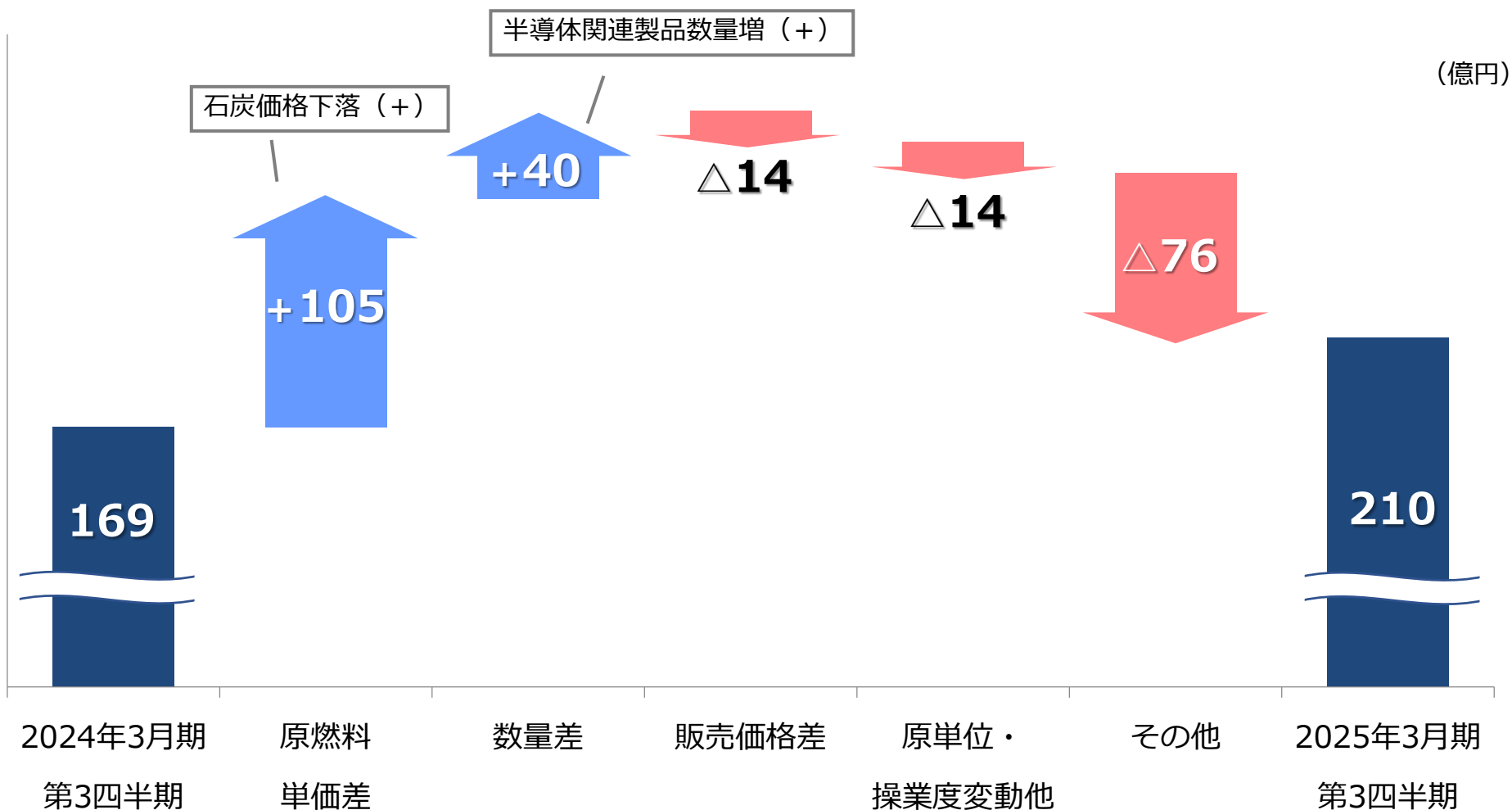
(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別

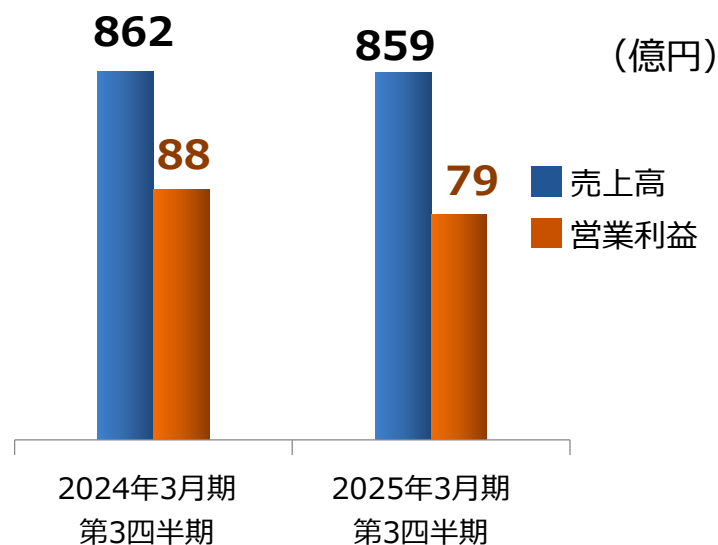


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

化成品

減収減益

定性情報



(苛性ソーダ)

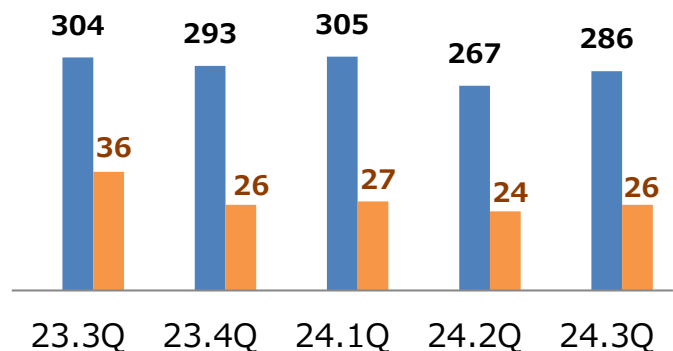
- ・輸出数量は増加したものの、国内の販売数量が低調に推移したこと等により前年同期並みの業績

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・国内の販売数量が低調に推移したこと、および製造コストの増加等により減益

(ソーダ灰)

- ・販売数量が減少したこと等により減益

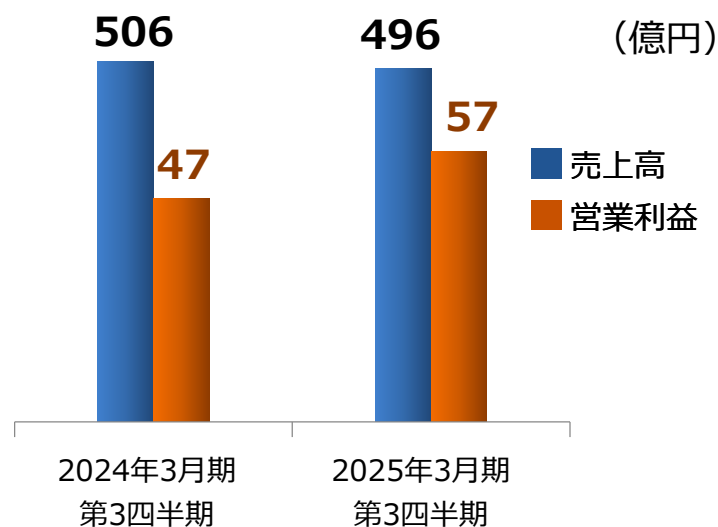


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

セメント

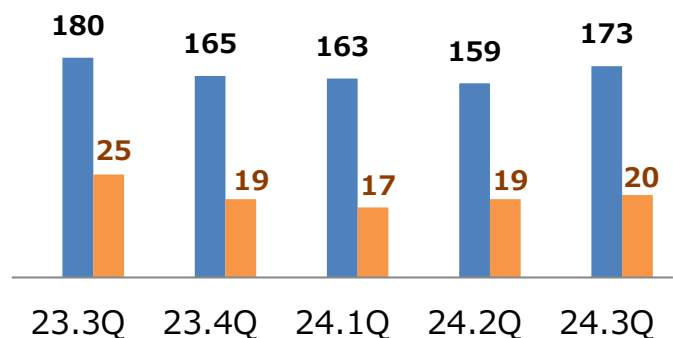
減収増益

定性情報



(セメント)

- ・国内出荷は前年同期比で微減となったものの、製造コストの改善が進んだこと等により増益

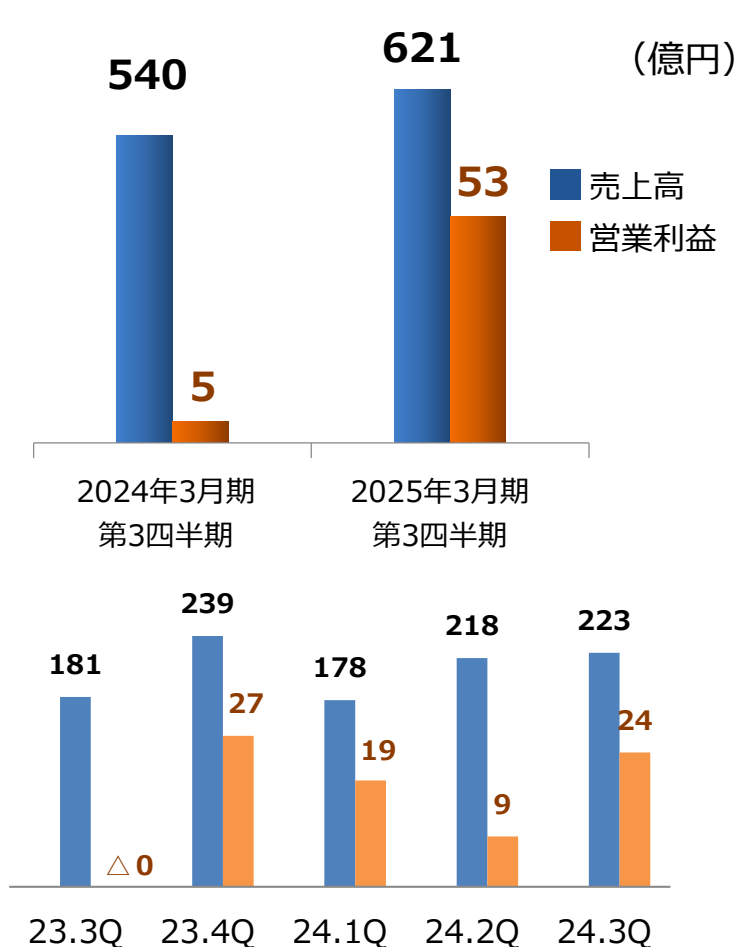


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

電子先端材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)
 ・販売数量が増加したこと等により増益

(ICケミカル)
 ・台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率向上等により収益改善

(乾式シリカ)
 ・円安による為替の影響や徳山化工（浙江）有限公司における製造コストの低減等により増益

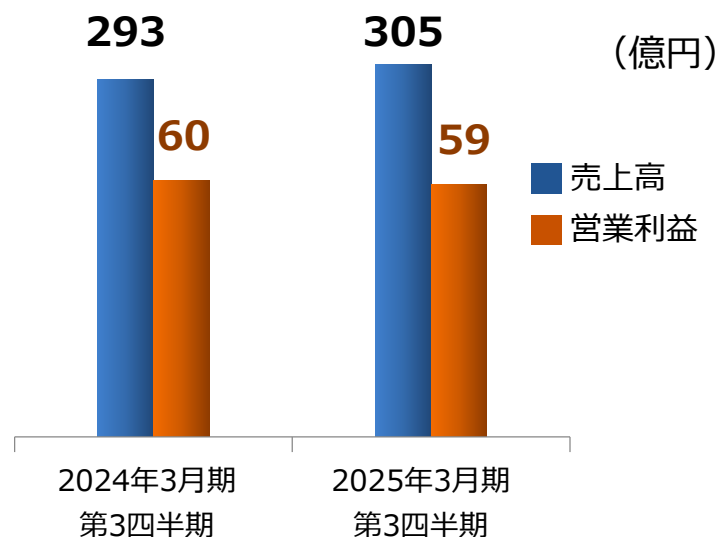
(放熱材)
 ・海外向けの販売数量が堅調に推移したこと等により増益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

ライフサイエンス

増収減益

定性情報



(歯科器材)

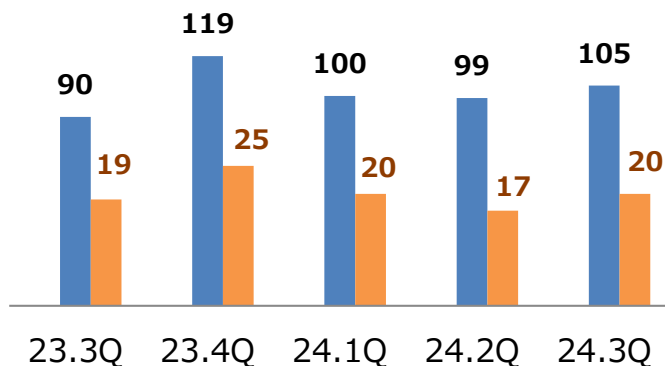
- ・海外向けの出荷が増加したこと、および円安による為替影響等により増益

(医療診断システム)

- ・臨床検査情報システムおよび検体検査自動化システムの販売が減少したこと等により減益

(医薬品原薬・中間体)

- ・製品ミックスの変動等により減益

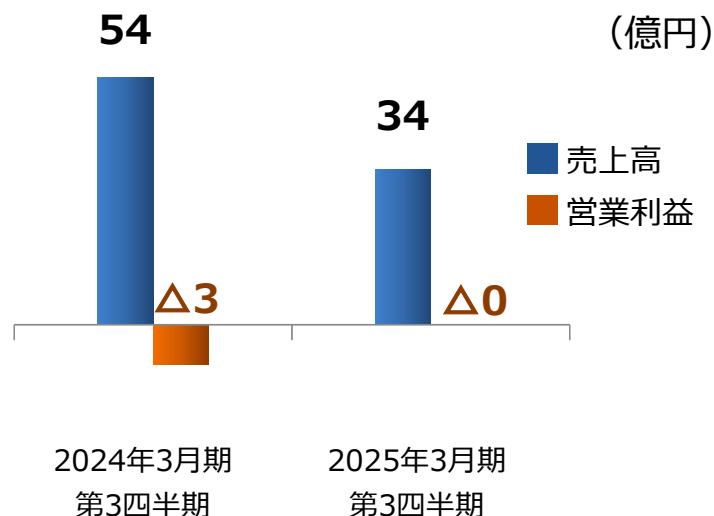


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

環境事業

減収赤字縮小

定性情報



(イオン交換膜)

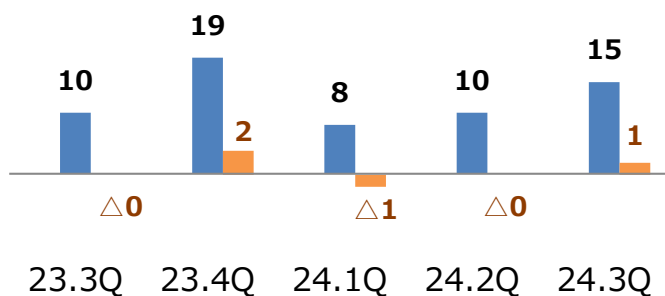
- ・出荷は減少したものの、製品ミックスの変動等により増益

(廃石膏ボードリサイクル)

- ・廃石膏ボード収集は堅調に推移したものの、製造コストが増加したこと等により前年同期並みの業績

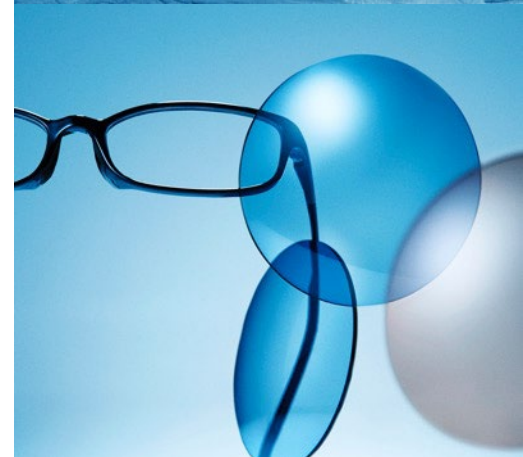
(樹脂サッシ)

- ・(株)エクセルシャノンが持分譲渡により前2Qから連結除外



② 2025年3月期 業績予想

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正



1. 業績予想修正

'24/4/26公表値から修正

(億円)

	2025年3月期 予想 (2024/04/26公表)	2025年3月期 予想 (2025/01/31修正)	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,520	3,480	△40	△1	化学品およびセメントの販売数量減
営業利益	330	310	△20	△6	化学品およびセメントの販売数量減
経常利益	310	310	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	250	-	-	-
1株当たり 当期純利益 (円)	347.48	347.49	-	-	-
為替 (円/\$)	上期実績 : 153 下期前提 : 145	1-3Q実績 : 153 4Q前提 : 145	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	上期実績 : 77,500 下期前提 : 69,000	1-3Q実績 : 77,300 4Q前提 : 69,000	-	-	-

化学品およびセメントの販売動向等を踏まえ、2024年04月26日に公表した数値を修正

2. セグメント別業績予想修正

'24/4/26公表値から修正

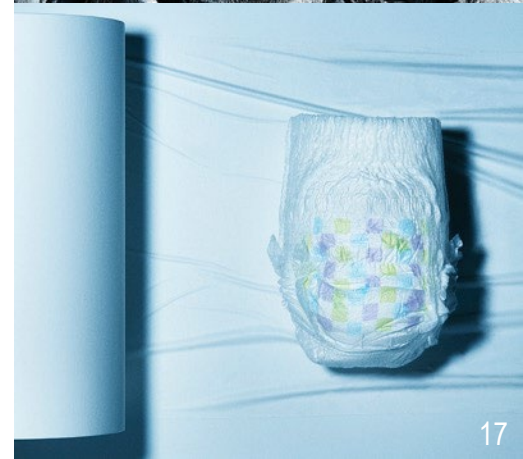
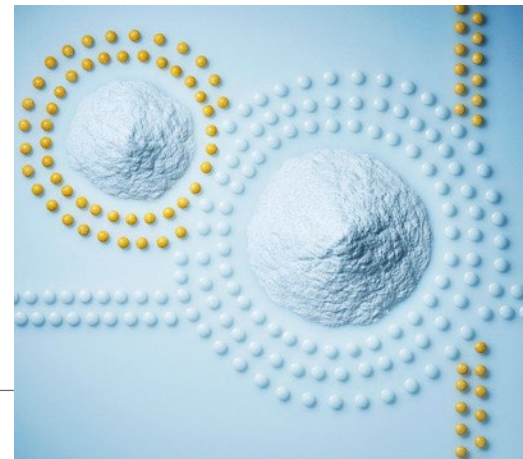
(億円)

	2025年3月期 予想 (2024/04/26公表)		2025年3月期 予想 (2025/01/31修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,200	135	1,160	110	△40	△3	△25	△19
セメント	670	80	650	70	△20	△3	△10	△13
電子先端材料	865	70	885	90	+20	+2	+20	+29
ライフサイエンス	430	90	430	90	-	-	-	-
環境事業	60	0	60	0	-	-	-	-
その他	410	30	410	25	-	-	△5	△17
計	3,635	405	3,595	385	△40	△1	△20	△5
セグメント間 消去・全社費用	△115	△75	△115	△75	-	-	-	-
連結決算	3,520	330	3,480	310	△40	△1	△20	△6

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 半導体市場の見通し



1. 半導体市場の見通し

【全体感】

(半導体市場動向)

デバイス・ファウンドリーメーカーは先端分野を中心に業績回復傾向も、汎用分野の回復は足踏み

(トクヤマ半導体関連製品の動向)

**全体的に回復傾向。特に先端分野の回復は継続して堅調。
汎用分野においては不透明感あり**

【半導体向け多結晶シリコン】



先端分野のウエハーを中心に回復基調。
ボリュームゾーンである汎用分野の回復および
サプライチェーン上の在庫消化ペースがポイント

【高純度IPA】



先端の3,5nm向け出荷が堅調に推移すると
ともに、2nm向けの本格出荷を予定

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	2,502	2,533	+ 31	+ 1
売上原価	1,777	1,739	+ 38	+ 2
販管費	555	583	△28	△5
営業利益	169	210	+ 41	+ 24
営業外損益	0	9	+ 8	-
経常利益	169	219	+ 50	+ 29
特別損益	3	23	+ 20	+ 682
税前三半期純利益	172	243	+ 70	+ 41
法人税等	55	75	△20	△37
非支配株主損益	△1	△0	△0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	119	169	+ 50	+ 42

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約） 貸借対照表

(億円)

	2024年3月末	2024年12月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,573	4,774	+200	+4
流動資産	2,177	2,329	+151	+7
有形固定資産	1,687	1,715	+28	+2
無形固定資産	34	42	+7	+22
投資その他の資産	673	686	+13	+2

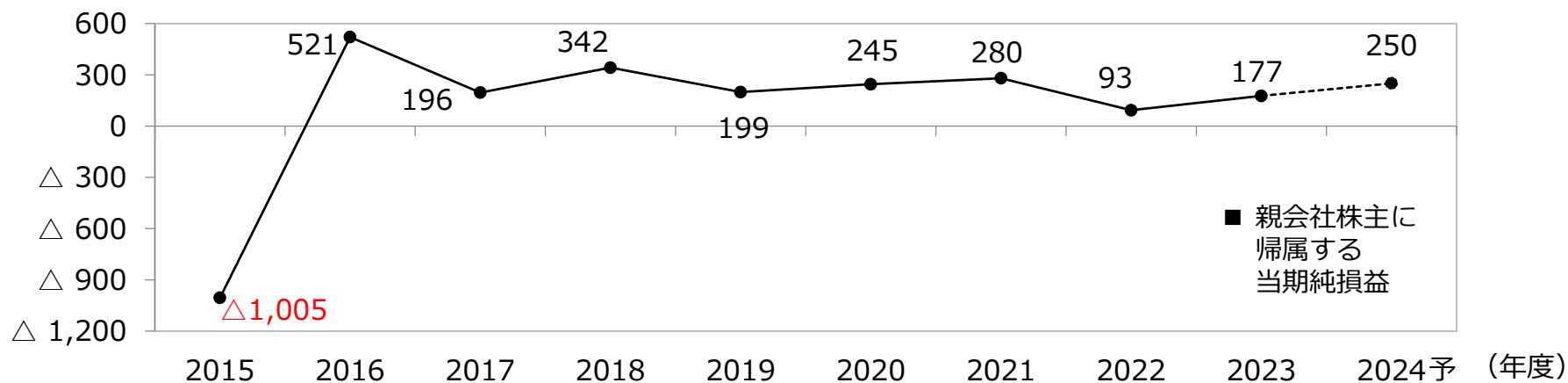
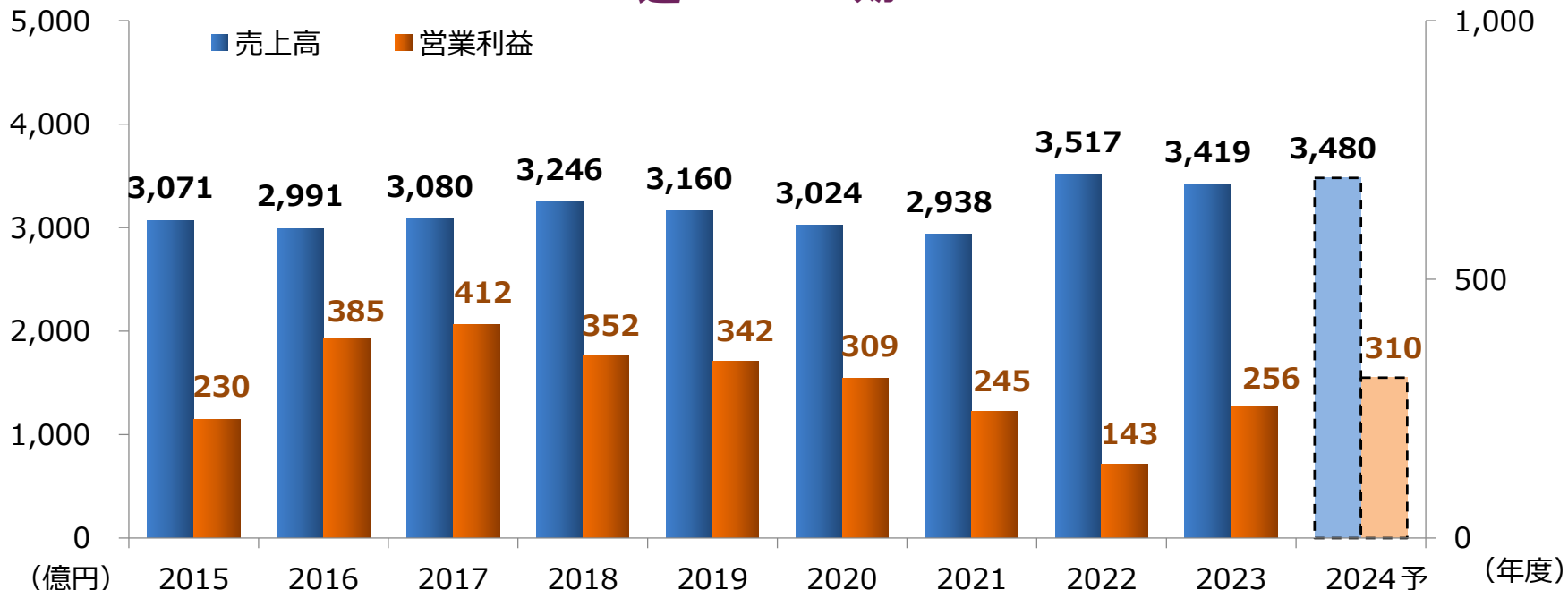
	2024年3月末	2024年12月末	増減	
			金額	%
負債合計	1,974	2,073	+99	+5
流動負債	1,039	940	△98	△10
固定負債	934	1,132	+197	+21
純資産合計	2,599	2,700	+101	+4

2. 業績推移

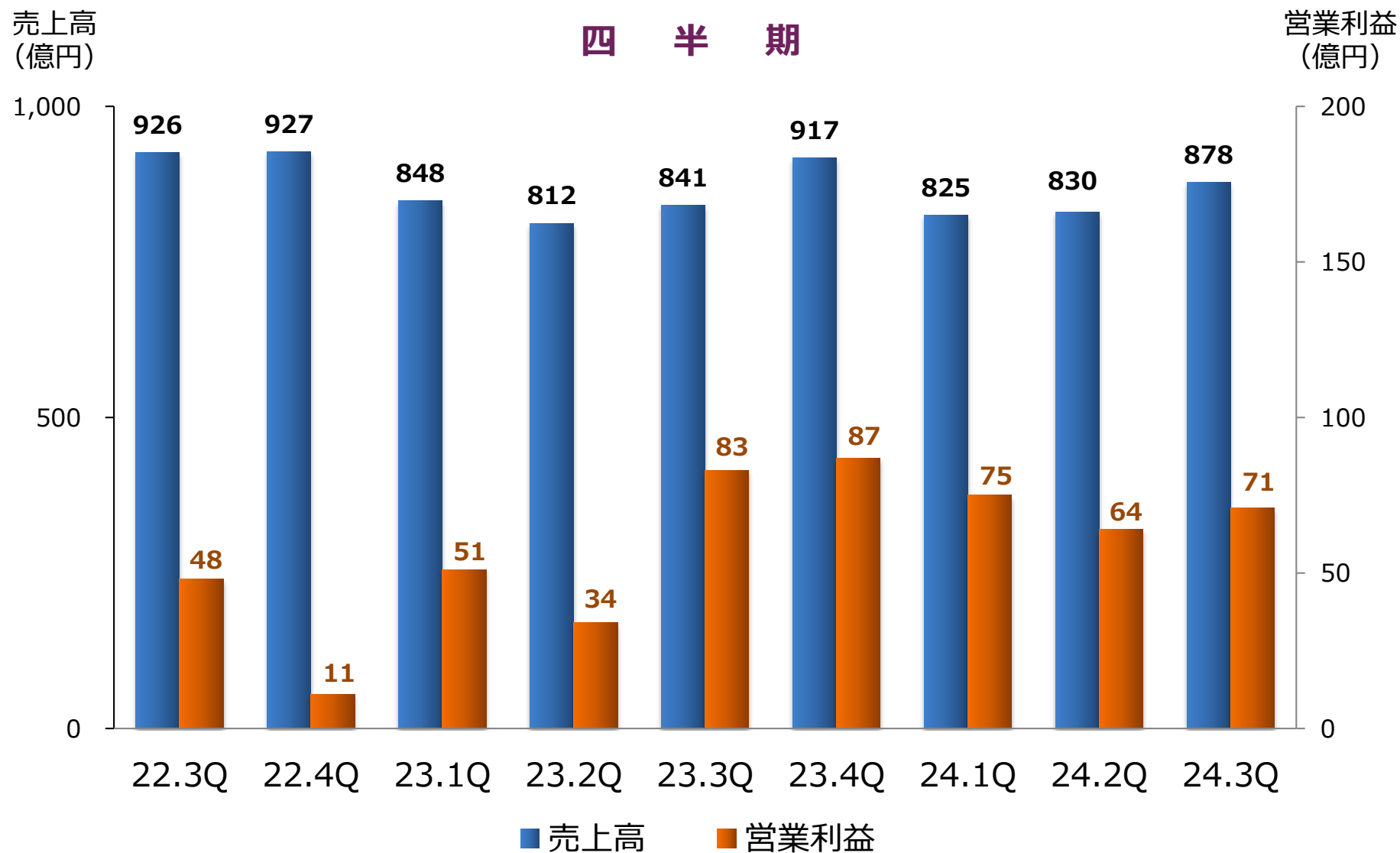
売上高 (億円)

営業利益 (億円)

通 期



2. 業績推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 